



## 経営課題への取り組み状況

クリエートチェンジ21

お客さまに信頼され選択されるために

*ToYou ForYou WithYou*



平成17年 5月

中国電力株式会社

平素は当社事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本冊子では、当社の経営課題への取り組みについて平成16年度の実施状況を中心に取りまとめています。

ご高覧いただき、当社の業務運営についてより一層のご理解を深めていただきますとともに、ご意見・ご感想等をいただければ幸いに存じます。

## 目 次

### ．平成16年度の実施状況

1．お客さま志向の徹底による競争力強化	2
（1）経営効率化への取り組み	2
（2）お客さまサービスの充実と多様化	7
2．公益的課題への取り組み	10
（1）安定供給への取り組み	10
（2）グループ総合力の発揮による環境経営の推進	10
（3）地球環境問題への対応	11
（4）循環型社会形成への対応	12
（5）新エネルギーの普及促進	13
3．グループ経営	15
（1）トータルソリューション事業の展開	16
（2）グループ経営基盤の整備	17
（3）グループ経営資源の効果的活用	18

### ．業績の動向

1．経営目標の達成状況	19
（1）中国電力（単独）の経営目標	19
（2）中国電力グループ経営目標（連結）	20
2．収支実績	21
3．平成17年度の収支見通し	22
4．電気料金の引下げ	23

#### 参考資料

- ・データでみる中国電力の概要
- ・決算関連データ
- ・中国電力グループ

## 平成16年度の実施状況

当社は、低廉で安定した電気とお客さまにご満足いただけるサービスを提供するため、平成16年度においても供給計画・経営効率化計画に基づく様々な取り組みを実施しました。

### クリエートチェンジ21

お客さまに信頼され、選択されるために

*To You* : 電気の価値を高めて情報発信し、お客さまに選択していただきます

*For You* : 選んでいただいたお客さまに感謝の気持ちを持ってサービスの向上を図り信頼を得ます

*With You* : お客さまとのふれあいを大切にし、お客さまに学び、お客さまとともに成長していきます

#### 【参 考】

平成16年度供給計画基本方針

1. お客さま志向の徹底による競争力強化
  - (1) プロポーズ(能動的提案)活動の展開
  - (2) 低廉な料金の実現
2. お客さま、株主・投資家の皆さま、地域社会等からの信頼の獲得
  - (1) 安定した電源、電力輸送設備の形成と運用
  - (2) 環境・エネルギー政策への取り組みと原子力発電の開発推進

平成16年度経営効率化計画

1. 設備投資額  
平成16～18年度の3カ年平均で1,500億円程度とします。
2. 修繕費  
設備診断技術の向上による取替・点検周期の見直し等を図ることなどにより、削減していきます。
3. 業務運営諸経費  
費用対効果を踏まえたコスト管理の更なる徹底により、抑制に努めます。

(注) 当社は、毎年3月に今後10年間の需要見通しと発電所の建設計画などを取りまとめた「供給計画」を経済産業省に届出し、それに織り込んだ今後3年間の効率化への取り組みについて「経営効率化への取り組み(経営効率化計画)」として公表しています。

平成17年3月から、「経営計画の概要」として公表。

## 1. お客さま志向の徹底による競争力強化

### (1) 経営効率化への取り組み

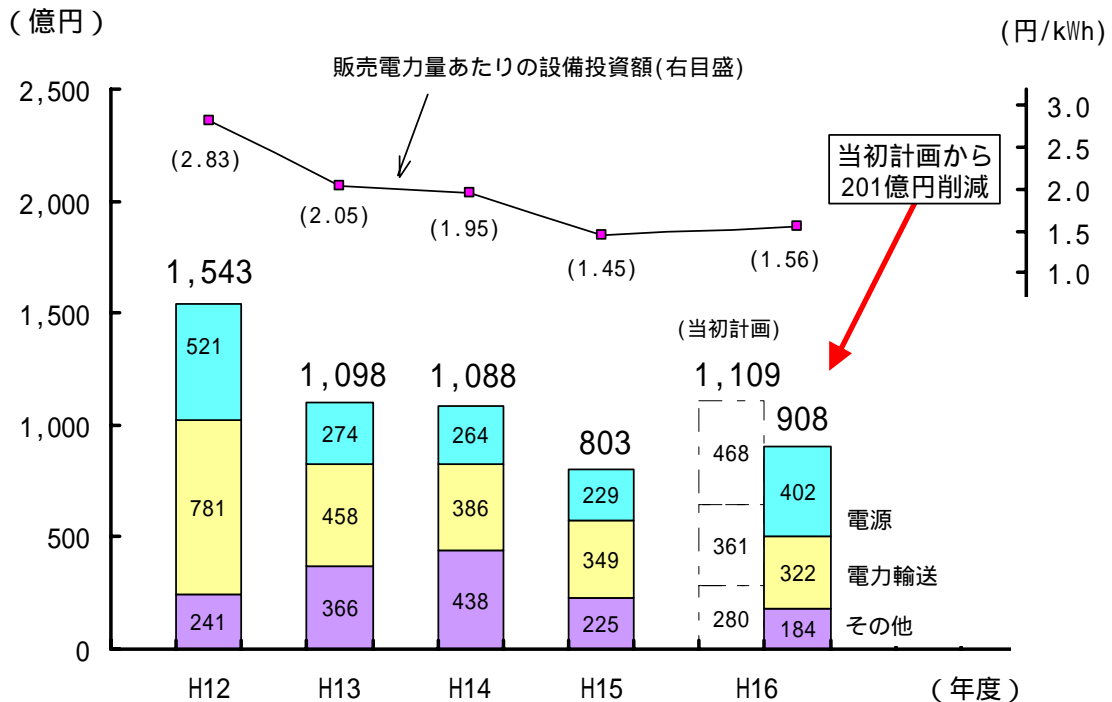
「平成16年度経営効率化計画」にもとづく取り組みに加え、実施段階での新たな効率化施策の実施により、当初計画以上の実績を上げました。今後も更なる効率化努力により、料金コストの低減に努めてまいります。

請負・資機材調達コストの低減などにより、設備投資を抑制しました

平成16年度の設備投資額は、島根3号機等の電源開発計画に伴い、前年度から306億円増加の1,109億円で計画していましたが、実施段階の効率化により当初計画から201億円削減し、908億円となりました。

今後とも、請負・資機材調達コストの低減などに取り組み、設備投資額の抑制に努めます。

### 設備投資額の推移

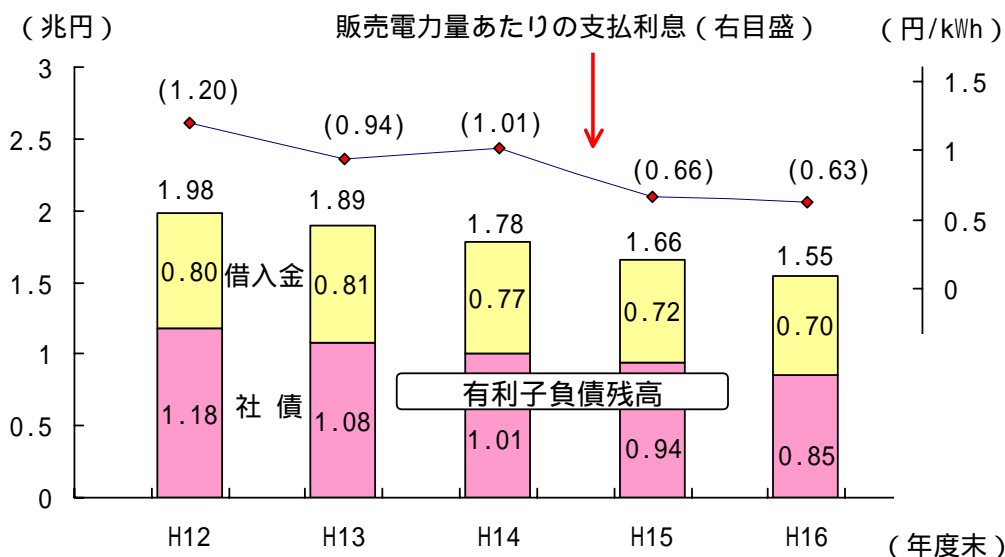


設備投資の削減で得られた資金は、有利子負債の削減など財務体質の強化に優先的に充当することで、金利負担の低減に努めました。

平成16年度末の有利子負債残高は前年度から1,100億円減少し、1兆5千5百億円となりました。

また、平成16年度には、将来の金利負担軽減を図るため過去に高金利で調達した負債の期限前返済も行いました。

### 有利子負債残高・支払利息の推移



#### 〔効率化施策の事例〕

##### 広島中央変電所・広島中央線の建設工事における新技術・新工法の採用

広島市中心部の電力需要増加に対応するため平成16年6月に営業運転を開始した広島中央変電所、広島中央線は、電圧が22万ボルトと、当社では初めての大都市部への超高圧電力システムを導入しました。また、超高圧変電所としては、当社初の地下式変電所となります。

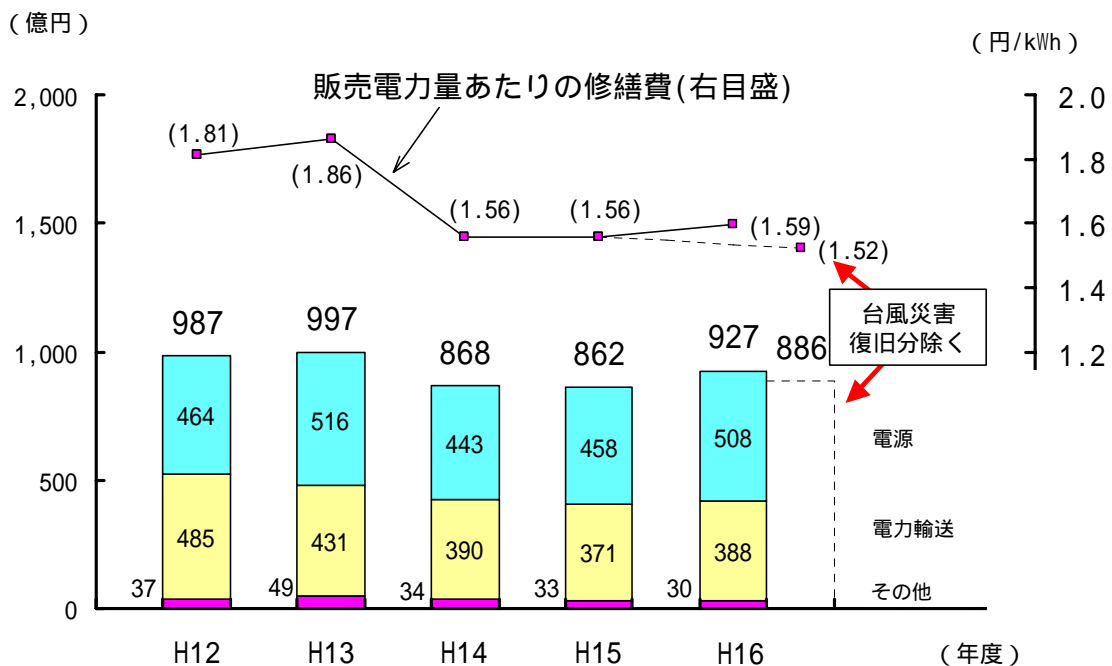
建設にあたっては、縮小型機器の採用による建物スペースの縮小、円形建物の採用による工事費の低減、および電力ケーブル接続箇所削減など、様々な新技術・新工法を採用し、効率化を図りました。

点検・補修の合理化などにより、修繕費の抑制に努めました

平成16年度の修繕費は、相次ぐ台風災害により金額では前年度に比べ増加しましたが、点検・補修周期の最適化を図るとともに、請負・資機材調達コストの低減などの効率化により抑制に努めました。

こうした取り組みの結果、台風災害復旧分を除いた販売電力量あたりの修繕費では、前年度より低減しました。

修繕費の推移



〔効率化施策の事例〕

配管溶接部の余寿命評価法の開発

火力発電所のボイラ高温蒸気配管溶接部について、従来、診断方法が確立されていなかった内部からの損傷を外表面から診断する手法を開発し、既存の手法と組み合わせることで、日本で初めてとなる溶接部全域の統一余寿命評価法を確立しました。

今回開発した評価法は、配管の補修時期を明確に設定できるため、長寿命化が図れ、補修コスト削減や効率化の推進につながります。

無人ヘリコプターによる送電線巡視システムの開発

送電線巡視・点検の効率化を図るため、ヒロボー株式会社および千葉大学と共同で「無人ヘリコプターによる送電線巡視システム」を開発しました。

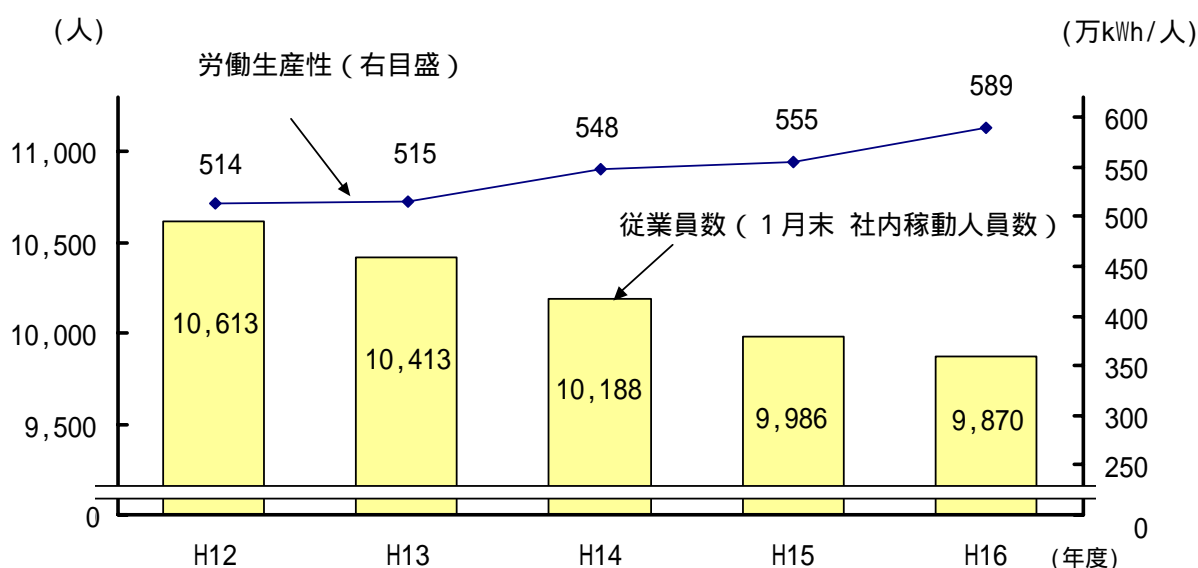
このシステムに利用するヘリコプターは、あらかじめ送電線に沿って設定した飛行ルートを自分の位置を確認しながら自動で飛行するとともに、上空で撮影した画像を無線で地上に送信することができます。

生産性の向上に努めました

業務運営全般にわたる効率化の推進により、要員の削減を図り、生産性を向上させました。

要員（出向者等を除く社内稼働人員）について、平成16年度は前年度と比較して100人以上削減し、労働生産性（一人当たりの販売電力量）を向上させました。

労働生産性の推移



なお、さらなる労働生産性向上を目指して、新たな要員目標を設定しました。

〔新たな要員目標〕

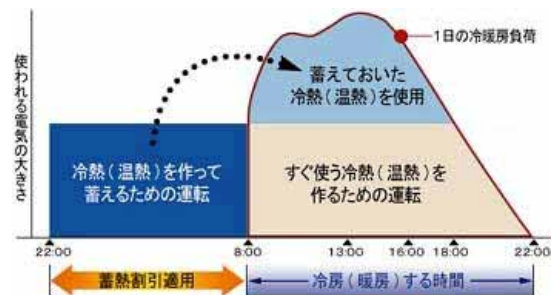
現在の従業員数約10,900人（平成16年9月末現在の出向者等を含む在籍人員）から、今後5年間で1,400人程度の要員削減により、平成21年度末で9,500人以下の体制を目指します。

負荷平準化に積極的に取り組んでいます

電気の使われ方は、昼夜、季節などにより大きな格差があります。この需要格差を縮めて、設備の稼働率を向上させることでコスト削減が図れることから、夜間電力を利用する電気温水器や、蓄熱式空調システム（エコ・アイス）などの普及拡大に力を入れています。

蓄熱式空調システム（エコ・アイス）について

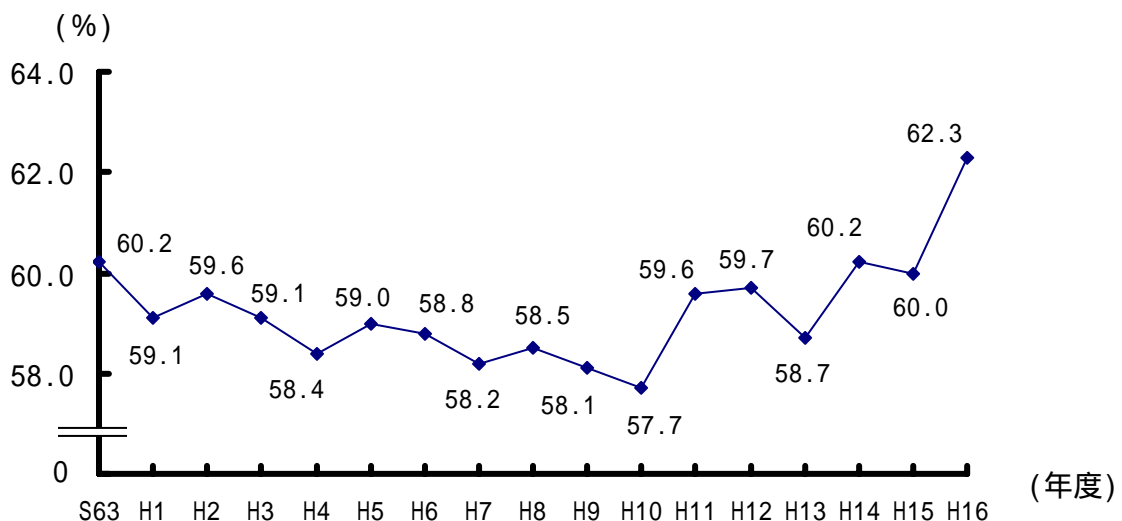
安い夜間電力で熱源機を運転して、夏は冷水(氷)、冬は温水を蓄熱槽に蓄え、昼間にその熱を利用した冷暖房を行います。これにより、昼間の電力負荷を夜間に移行するため、契約電力が小さくなり、基本料金も節約できます。



電気給湯器販売台数・電化住宅建設戸数の推移

年 度	H12	H13	H14	H15	H16
電気給湯器販売台数（台）	28,606	29,576	31,315	36,997	41,406
電化住宅建設戸数（戸）	11,659	16,087	20,328	27,973	32,513

負荷率の推移



(注1) 負荷率 = 年間平均需要 ÷ 夏季ピーク需要  
 (数値は、猛暑、冷夏などの影響を除いたもの)

(注2) 負荷率は高水準な生産などを反映し、高めの水準で推移。

## (2) お客さまサービスの充実と多様化

お客さまに一層ご満足いただけるよう、サービスの充実に努めています

### コミュニケーションの充実

当社は、「お客さま満足の結果として当社を選択いただく」ことを基本とした業務運営を推進することにより、お客さまとの長期にわたるパートナーシップを構築していきたいと考えています。

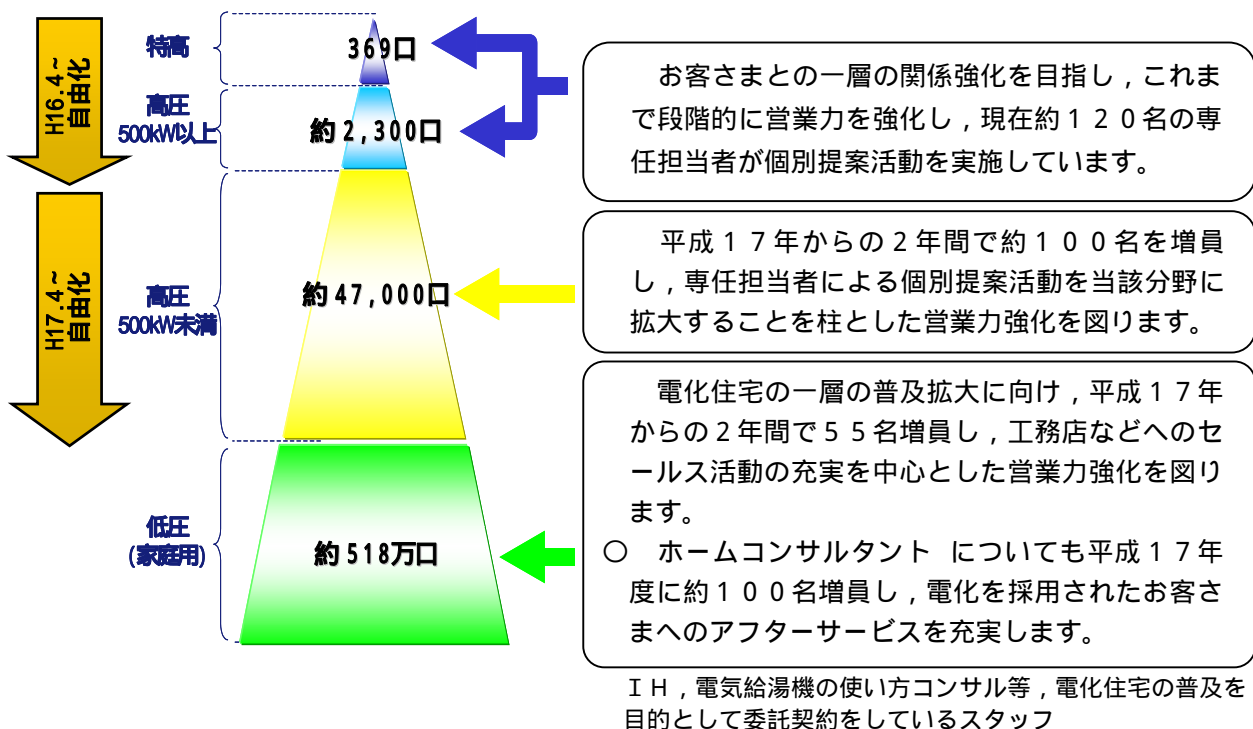
このため、お客さまとの双方向コミュニケーションの更なる充実によりお客さまのニーズを把握し、そのニーズに対してお客さまが期待される以上のサービス・品質の充実に努めるとともに、お客さまが抱えておられる「課題解決」に軸足を置いたトータルソリューション提案をしていきます。

これらの取り組みをこれまで以上に強力に推進することによりお客さま満足度を高めていき、お客さまから「身近なパートナー」として評価いただけるよう努力してまいります。

### 《電力自由化範囲拡大に向けた営業体制の強化》

お客さま満足の向上のため、営業力を強化します。

平成17年2月以降、営業要員を160名程度増員する予定です。



エネルギー診断サービスの強化

当社は、お客様の電力負荷やボイラーなどの負荷設備のエネルギー使用実態を計測・分析し、運用改善、設備改修、高効率機器の提案など、省エネルギー・省コストやエネルギーの有効活用につながる多面的なコンサルティングである「エネルギー診断サービス」を実施しております。

カスタマーセンターの設置

お客様サービスの向上を図るため、お引越しに伴う電気のご使用開始・終了のお申し込み受付業務を行っていた岡山・広島の両契約センターに、各営業所ごとに行っているご相談・お問い合わせ等の電話受付業務を集中化し、契約センターをカスタマーセンターに改編しました。

カスタマーセンターでは、お客様からのお問い合わせ等にスピーディーにお応えするとともに、お客様ニーズを的確に把握・分析し、業務へ迅速に反映してまいります。



主なサービス向上施策

- (1) 電話をフリーダイヤルに変更
 

営業所でお受けしていた相談・問い合わせ受付専用電話と、契約センターでお受けしている引越受付専用電話をフリーダイヤルに変更し、お客様の通話料金負担をなくしました。  
(お客様からの電話は、営業所からカスタマーセンターへ自動転送します。)
- (2) 電話受付時間の延長
 

通常の電話受付時間を従来平日 9:00～17:00 から平日 9:00～20:00 に延長し、お客様の利便性の向上を図りました。

### 電気料金クレジットカード支払いサービス

電気料金のお支払方法にクレジットカード支払いサービスを追加しました。

従来の口座振替や銀行振込等に加え、お客さまの電気料金お支払い方法の選択肢を拡大・充実したものです。

### インターネットによるサービスの充実

当社ホームページから電気料金やご使用量の照会、電気料金の試算、ならびにお引越し受付サービスなどが行えます。

サービスメニュー	サービス内容
電気料金の試算	入力された使用量等に応じて電気料金を試算します。
契約変更シミュレーション	他の料金メニューへの契約変更シミュレーション、エコノミーナイト、ファミリータイムの使用実態の変更シミュレーションができます。
電気料金 / ご使用量の照会	過去15ヶ月の推移が表やグラフで確認できます。
お引越し受付サービス	お引越しに伴う契約終了、使用開始の申込みができます。 ～ご利用可能な期間～ 引越予定日の2ヶ月前から3日前まで

電気料金・ご使用量の照会については、個人情報保護のため会員登録が必要です。

～ご利用時間～

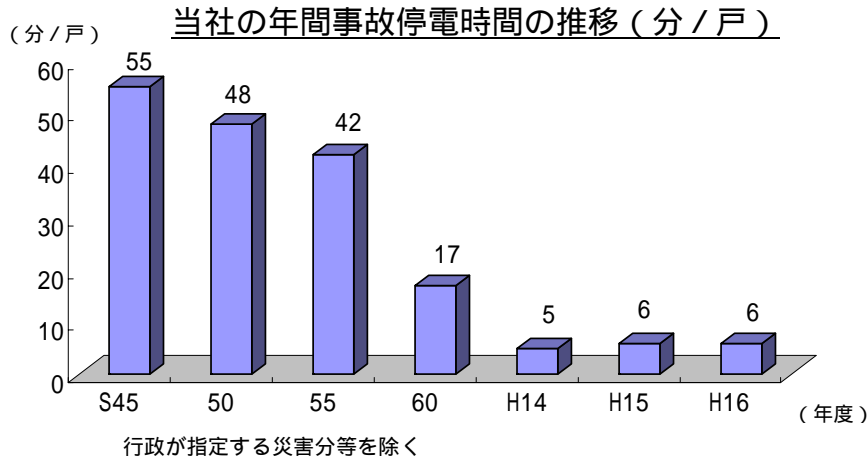
- ・電気料金・ご使用量の照会・・・8時～21時
- ・その他のサービスメニュー・・・24時間受付

## 2. 公益的課題への取り組み

### (1) 安定供給への取り組み

#### 高品質の電気をお届けします

今後も安定して質の高い電気をお届けしてまいります。

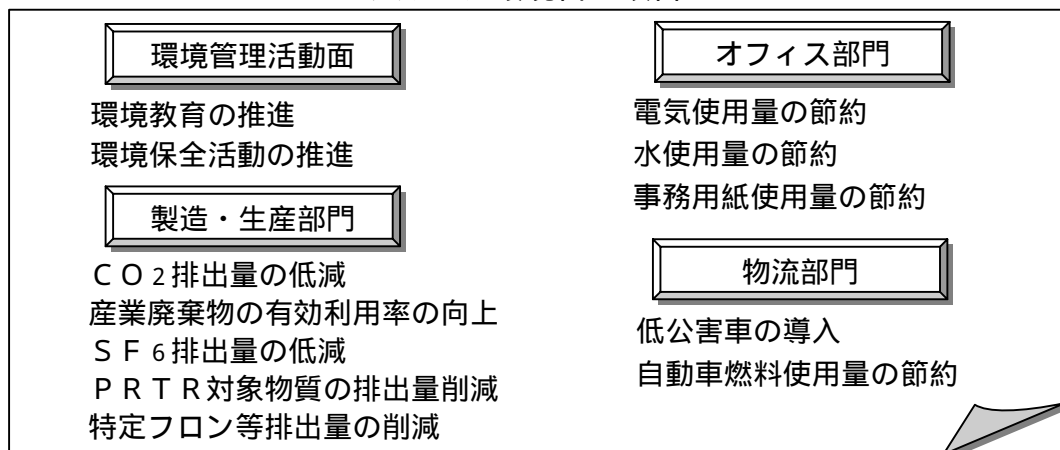


### (2) グループ総合力の発揮による環境経営の推進

#### 「グループ環境管理目標」を設定しました

中国電力グループでは、平成15年9月に制定したグループ共通の環境基本方針と環境行動指針からなる「エネルギーグループ環境ビジョン」のもと、環境経営を推進していますが、平成16年10月には、中・長期的に環境問題への取り組みを着実かつ具体的に展開していくため、「グループ環境管理目標」を設定しました。

#### グループ環境管理項目



グリーン購入を推進しています。

「グリーン購入」とは、購入の必要性を十分に考え、できるだけ環境への負担の少ない製品やサービスを優先的に選んで購入することで、国や自治体などに取組みを義務付ける法律（グリーン購入法）も制定されています。

当社では、平成14年に「エネルギー グリーン購入ガイドライン」を策定し、取組みを展開していますが、平成16年10月には、当社のガイドラインをベースに新たにグループ共通のガイドラインを作成し、グループ全体で「グリーン購入」を推進しています。

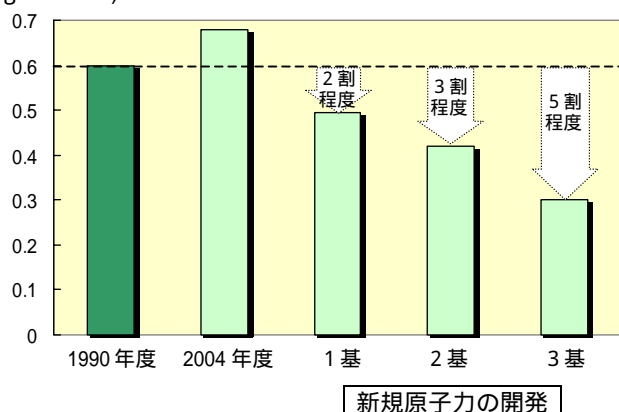
### (3) 地球環境問題への対応

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出抑制に努めています

#### 新規原子力の推進

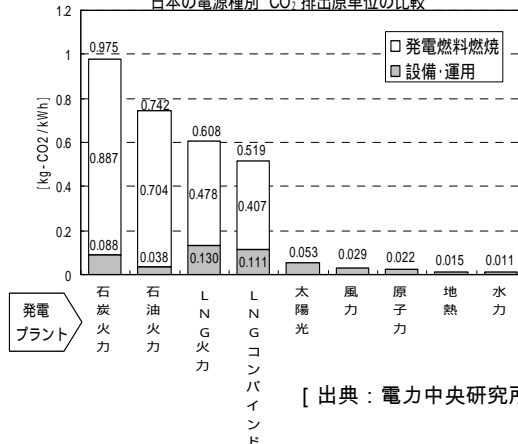
原子力発電は、供給面での安定性・経済性に優れた電源です。また、運転中に二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出しないため、地球温暖化防止にも大きく貢献します。当社は、原子力開発を経営の最重要課題として、島根・上関地点の着実な開発に取り組んでいます。

(kg-CO<sub>2</sub>/kWh) 当社原子力開発のCO<sub>2</sub>排出原単位低減効果



(参考)

日本の電源種別 CO<sub>2</sub>排出原単位の比較



[ 出典：電力中央研究所 ]

## (4) 循環型社会形成への対応

### 廃棄物の3R対策を積極的に推進しています

「ゼロエミッション」(emission: 廃棄物)の達成を目指して、廃棄物の発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3R対策を積極的に推進しています。

### 石炭灰等の有効利用拡大への取り組み

当社の事業活動に伴い発生する産業廃棄物・副産物のうち、最も発生量の多い石炭灰について、従来からのセメント材料としての利用に加え、広く土木材料に利用するための技術開発に取り組み、Hiビーズ(護岸工事用海砂代替材)、ジオ・シード(軟弱地盤改良材)、NAクリート(新素材コンクリート)など幅広い製品を商品化しています。

また、その他の廃棄物についても、積極的に有効利用の拡大に努めており、平成16年度から、グループ企業の中国高圧コンクリート工業株式会社と共同で、発電所・変電所の工事に使用した木製電線ドラムを、ガーデニング商品として加工するとともに、販売を始めました。

### 本社ビルにおけるゼロエミッションの達成

当社では、本社ビル構内において徹底した分別回収と再資源化に取り組み、平成16年度は「ゼロエミッション<sup>1</sup>」を達成しています。今後もゼロエミッション活動の全社への拡大を図り、廃棄物の一層の削減に努めていきます。

なお、本社ビル構内におけるゼロエミッションの取り組みは、平成16年度の「リデュース・リユース・リサイクル推進協議会<sup>2</sup>会長賞」を受賞しました。

1 当社における「ゼロエミッション」の定義

『一般廃棄物および産業廃棄物の総排出量に対する最終処分の割合を1%以下とする。』

2 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

財団法人クリーンジャパンセンターが運営する組織で、3Rの普及啓発を図ることを目的に、平成3年度から「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を行っています。

## (5) 新エネルギーの普及促進

### 新エネルギーの購入や開発・支援に積極的に取り組んでいます

太陽光や風力などの自然エネルギーは枯渇する心配がないうえ、発電の際にCO<sub>2</sub>が発生しません。これらの新エネルギーの普及促進に貢献するため、新エネルギー発電からの余剰電力を積極的に購入するほか、その開発および助成活動にも携わっています。

### 新エネルギー発電からの余剰購入

未利用エネルギーの有効活用の観点から廃棄物発電の余剰電力を購入しています。また、太陽光発電からは当社の販売電力単価で購入しています。

事業目的の風力発電については、長期間、安定して電力を購入するメニューを設けています。また、新エネルギーの更なる普及を目的とした「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法(RPS法)」の施行(平成15年4月)に伴い、風力発電の入札枠を撤廃し、開発計画等を随時受け付けています。

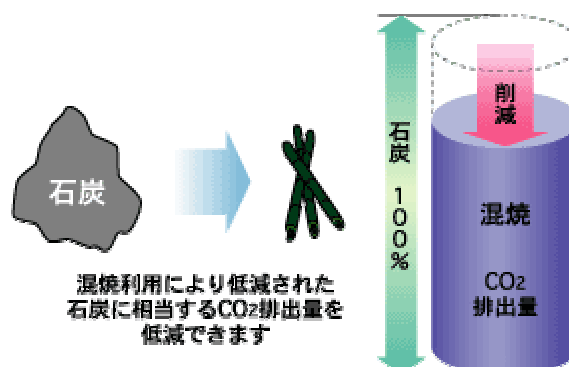
このように購入条件などに配慮することで新エネルギー発電の普及を支援しています。

### 新エネルギー発電の研究・開発

事業所などに太陽光発電および風力発電設備を設置して実証試験を行うとともに、新エネルギーを利用した発電の自社開発についても検討しています。

また、未利用間伐材や製材くず、竹などの木質バイオマスの石炭火力発電所での混焼を目指して、バーナ燃焼技術、粉碎・乾燥技術等の開発を行っています。

石炭火力発電所での木質バイオマス混焼技術の実用化により、経済的なバイオマス発電が可能となり、混焼利用により低減された石炭に相当するCO<sub>2</sub>を削減することが期待できます。



### 中国グリーン電力基金

「中国グリーン電力基金」は、地域の皆さまから参加者を募り、参加者からの拠出金をもとに、太陽光（公共用）・風力発電設備等の建設を助成一層の普及促進を図る市民参加型の取り組みです。基金の運営は、財団法人中国産業活性化センターが行っています。

当社では、お申し込みの手続きや拠出金の口座振替など、運営のお手伝いをさせていただくとともに、募集PRや基金への拠出により、自然エネルギー発電設備の普及拡大に積極的に協力しています。

平成17年3月末現在加入件数・口数

加入件数 1,423件      加入口数 1,932口（1口500円/月）

平成16年度 助成対象設備

- ・太陽光発電設備 11件(助成予定額：1,027万円，助成対象出力 計 285.4kW)
- ・風力発電設備 4件(助成予定額：1,386.1万円，助成対象出力 計 25,950kW)

平成17年度は、太陽光・風力発電設備の建設に2,800万円を助成する予定です。

お問い合わせや参加のお申し込みは、(財)中国産業活性化センター  
(082-241-9927)および中国電力の各営業所にて承っております。

申込書は、下記のホームページからもお取り寄せいただけます。  
(中国グリーン電力基金ホームページ <http://www.energia.co.jp/green/>)

### 3 . グループ経営

#### 中国電力グループ経営の基本的考え方

電力自由化の進展など経営環境の変化に対応し、中国電力グループの着実な発展を目指していくためには、グループ一体となった事業活動がますます重要となります。こうした観点から、平成14年10月、グループ経営の「基本的考え方」を、以下のとおり定めました。

#### 目 指 す も の

魅力あふれる商品・サービスを提供することにより、お客さまから「なくてはならない」と思っただけの企業グループを目指します。

引き続き地域経済の中核として地域活性化に貢献するとともに、株主価値を増大いたします。

グループの雇用安定を図りつつ、人材のレベルアップと技術継承、職場活力を向上いたします。

#### 具体的な取り組み

(1) トータルソリューション 事業の展開

(2) グループ経営資源の効果的活用

トータルソリューション  
様々な選択肢の中から、総合的にみてお客さまにとって最もメリットのある方策を提供すること

## (1) トータルソリューション事業の展開

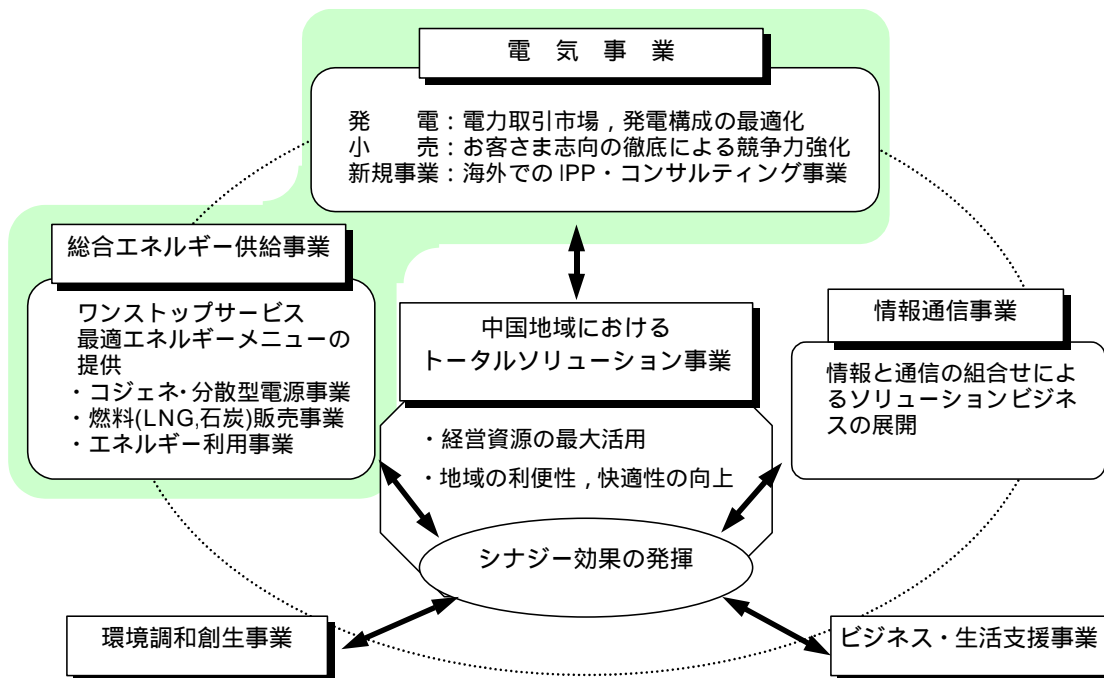
新しい事業領域へ進出し、お客さまの多様なニーズにお応えすることで、グループの収益力を高めていきます

### 新規事業開発の方向性

収益性・発展性を重視し、当社の強みを活かせる事業領域(戦略的事业領域)へ集中的に経営資源を投入することで、積極的な事業展開を実施します。

具体的には、多様化するお客さまニーズにお応えするため、4つの戦略的事业領域を定め、電気事業とのシナジー効果を狙ったトータルソリューション事業を展開します。

当社は今後とも、中国地域のお客さまの利便性や快適性向上に資する事業を展開していきます。



## (2) グループ経営基盤の整備

グループ経営の充実化を図るため、グループ全体での中期経営計画制度を構築します。

現在、グループ経営目標の達成に向けて、グループ一体となった事業展開を推進していますが、今後、一層のグループ経営の充実を図るため、グループ全体での中期経営計画制度の構築に取り組んでいます。

具体的には、会計の開示セグメントとは別に、グループの事業を事業部門ごとに5つの事業分野（管理セグメント、下図～）に区分して、それぞれの事業分野（管理セグメント）ごとに収支管理を行います。

これにより、グループ全体および事業分野ごとの戦略や役割を明確化するとともに、企業間連携による競争力強化や、各事業分野やグループ企業の個別事業部門ごとに収益性評価を行い、グループ全体の経営資源を迅速かつ柔軟に最適配分する仕組みを構築していきます。

## グループ中計制度の推進

### 開示セグメントとの 対応イメージ

#### 【管理セグメント】

総合  
エネルギー

販売

電源

流通

情報通信

ビジネス生活支援

### 会計の開示セグメント

電気事業	総合エ ネルギー-供給	情報通信	その他	
			(環境調和創生) (電気事業 サポートほか)	(ビジネス 生活支援)

### (3) グループ経営資源の効果的活用

グループ大での経営効率化・競争力強化を推進しています

#### グループ大の経営効率化

グループ各企業がそれぞれ行っている管理間接業務を集中的に行う新会社を設立し、グループ大での業務効率化・省力化を推進しています。

平成13年4月	(株)エネルギー・ビジネスサービス (経理, 資材, 人事労務の管理間接業務事務代行など) グループ企業の資金を一元的に管理して, グループ全体の資金調達コストの削減, 資金管理業務の効率化を図るため, キャッシュ・マネジメント・システム(CMS)を導入(平成17年2月)
平成15年2月	(株)エネルギー・ロジスティックス (グループ内の資機材輸送, 新物流システムの構築)

#### グループ企業の再編・統合

グループ全体の競争力強化ならびに効率化に向けた方策として平成15年度からグループ企業の再編・統合を検討・実施しています。

平成15年7月	[新社名 (株)エネルギー・コミュニケーションズ] 中国情報システムサービス(株)と中国通信ネットワーク(株)が合併
平成16年4月	[新社名 中電工業(株)] 中電工業(株)と(株)電設コーテックが合併
平成16年7月	[新社名 (株)エネルギー・ライフ&アクセス] (株)中電アクセスと(株)中電ライフが合併
平成16年7月	グループ企業2社が行っている人材派遣事業を (株)エネルギー人材ソリューションに集約

## 業績の動向

### 1. 経営目標の達成状況

#### (1) 中国電力（単独）の経営目標

中国電力（単独）の経営目標は概ね達成したと評価できる結果となりました

平成16年度は、業績の向上と財務体質の改善を目指して設定した、平成14年度を起点とする3年間の数値目標の最終年度にあたります。この期間の実績は下表のとおりとなりました。

この間の活動を総括しますと、有利子負債の期限前返済など将来の経営基盤強化のための積極的な取り組みを勘案すれば、経営目標は概ね達成したと評価できる結果となりました。

数値目標	平成14～16年度平均	
	目標	実績
株主資本比率	23%程度 (平成16年度末)	23.2%
ROE (株主資本当期利益率)	8%程度	8.3%
ROA (総資産税引後営業利益率)	3%程度	2.8%
経常利益	700億円/年 以上	688億円
フリーキャッシュ・フロー (配当前)	1,100億円/年 以上	1,414億円

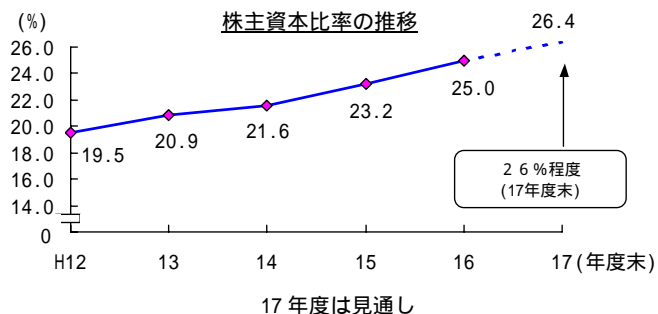
(2) 中国電力グループ経営目標(連結)

中国電力グループとしての総合的な「収益性」「効率性」「健全性」の向上を目指し、平成15年度から17年度の3年間を対象とするグループ経営目標の達成に向けて取り組んでいます

株主資本比率

目標：26%程度  
(平成17年度末)

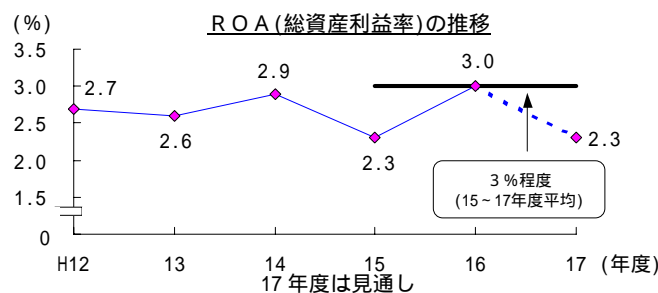
株主資本比率 = 株主資本 / 総資本  
一般に株主資本比率が高いほど経営の安全性が高いとされています。



ROA (総資産利益率)

目標：3%程度  
(平成15～17年度平均)

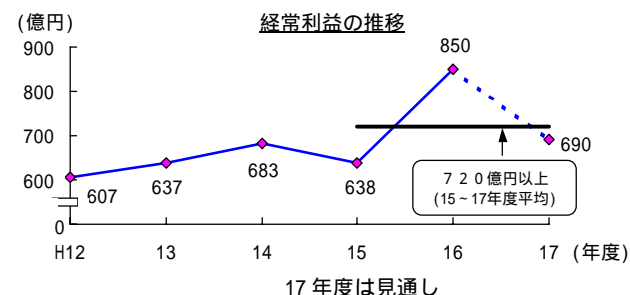
ROA (総資産利益率)  
= 税引後営業利益 / 総資産  
企業が資産をどれくらい効率的に活用して利益を生み出しているかを表す指標です。



経常利益

目標：720億円以上  
(平成15～17年度平均)

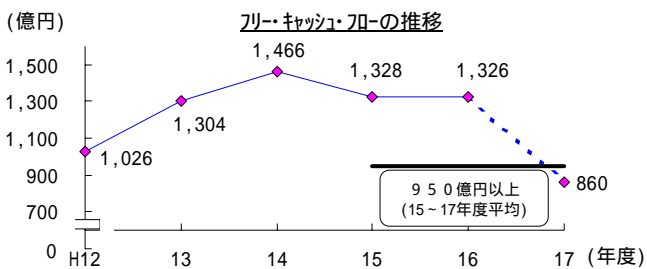
経常利益 = 経常収益 - 経常費用  
会社の収益力を表しています。



フリー・キャッシュ・フロー

目標：950億円以上  
(平成15～17年度平均)

フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー - 投資キャッシュ・フロー  
企業の営業活動により生み出されるお金から、投資などに必要なお金を引いたもので、借入金の返済や新たな事業の展開などに使えるお金を示します。



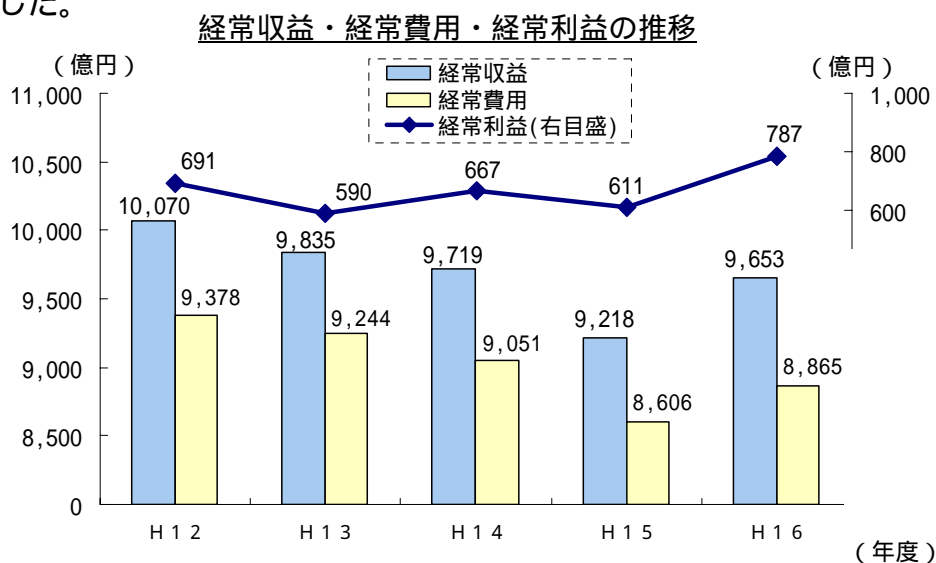
## 2. 収支実績

### 【平成16年度決算】

経常収益は、夏季の気温が高めに推移したことによる冷房需要の増加や高水準な生産活動を反映した産業用需要の堅調な伸びにより、販売電力量が増加したことなどから、前期に比べ増収となりました。

一方、経常費用は、業務運営全般にわたる効率化に努めたものの、燃料価格上昇などによる原料費の増加などから、前期に比べ増加しました。

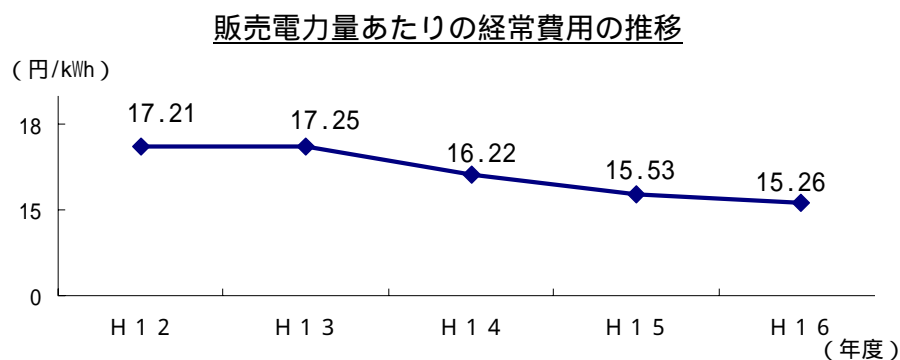
以上の結果、経常利益は787億円となり、前年に比べ175億円の増益となりました。



### 販売電力量の推移

(単位：億 kWh, %)

年度	H12	H13	H14	H15	H16
販売電力量	545	536	558	554	581
対前年伸び率	3.0	1.6	4.2	0.7	4.9



### 3. 平成17年度の収支見通し

平成17年度の収支は、17年4月から実施した料金引下げの影響などにより売上高が前年度を下回ると見込んでいますが、業務運営全般にわたる効率化の徹底により、経常利益では640億円程度を確保できる見通しです。

		平成17年度 見通し (A)	平成16年度 実績 (B)	増減 (A - B)
(対前年伸び率)	(%)	(0.4)	(4.9)	
販売電力量	億 kWh	579	581	2
(対前年伸び率)	(%)	(1.7)	(4.8)	
売上高(営業収益)	億円	9,400	9,566	166
(対前年伸び率)	(%)	(18.7)	(28.7)	
経常利益	億円	640	787	147

## 4. 電気料金の引下げ

平成17年4月1日から、電気料金の引下げを実施しました

これまでの経営効率化の成果に加え、今後の効率化努力を最大限に織り込んで、平成17年4月1日から電気料金の引下げを実施しました。

一般のご家庭など、低圧で受電されるお客さまを対象とした新しい電気料金は、旧料金に対し、平均で3.53%の引下げとなります。今回の料金引下げによる引下げ額を、主な契約種別ごとに、平均的なご使用量のお客さまについて試算すると、下表のとおりとなります。

また、自由化対象となる高圧および特別高圧受電のお客さまに適用する電気料金についても、料金引下げを行いました。

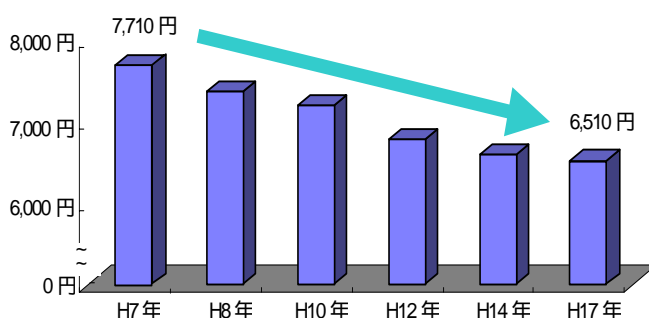
契約種別	主な用途	新料金	旧料金	引下げ額 (年間引下げ額)	試算の前提 (月間ご使用量)
従量電灯A	家庭用	6,510円	6,732円	222円 (2,700円程度)	(300kWh) 口座振替割引含む
季節別時間帯別電灯 (ファミリー) (プラン)		11,620円	12,168円	548円 (6,600円程度)	(890kWh) 電化住宅割引・ 口座振替割引含む
低圧電力	商店の 冷暖房等	14,371円	14,760円	389円 (4,700円程度)	契約電力8kW (560kWh)

注)・料金は消費税(5%)を含んだものです。

・旧料金は、平成17年1~3月分に適用している料金(平成16年7~9月の通関統計実績に基づく燃料費調整を実施後のもの)です。

### 家庭用電気料金の推移

平均的な使用量のご家庭(従量電灯A 300kWh)で比較した場合、今回を含めた5回の引下げにより、至近10年間で約16%(約1,200円/月)お安くなりました。

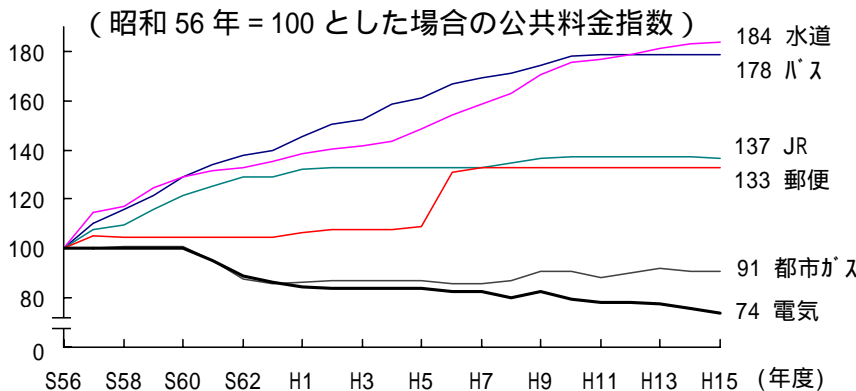


(注)

- ・左記料金には燃料費調整額を含んでいません。
- ・平成7年および8年の料金には3%、平成10年以降の料金には5%の消費税が含まれています。

電気料金と他の公共料金との比較

多くの公共料金が値上がりするなか、電気料金の水準は大きく低下しています。



出典) 総務省統計局  
消費者物価指数年報  
(平成15年)

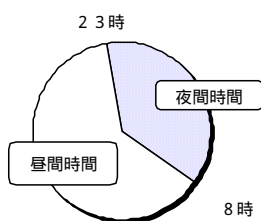
電気料金メニューの多様化

お客様の電気のご使用形態にあわせてお選びいただく料金メニューの多様化をはかり、昼夜間の電力利用の格差を縮めることにより、エネルギーの効率利用につながる電気のご使用を推奨しています。

例えば、ご家庭用の料金メニューのエコノミーナイト、ファミリータイムでは、昼間の料金単価より、電力需要が比較的少ない夜間や朝・夕方の料金単価を割安に設定しています。

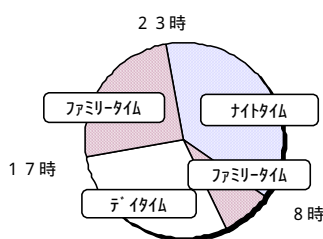
この料金メニューをお選びいただいたお客さまは、昼間の電気製品のご使用量を減らして、夜間や朝・夕方の使用割合を高めていただくことにより電気料金がお得になります。

エコノミーナイト (時間帯別電灯)



1日を、2つの時間帯(昼間、夜間)に区分して料金を計算します。  
一般的な料金メニュー(従量電灯A)に比べ、昼間は約10%割高ですが、夜間は約70%割安な料金単価を設定しています。

ファミリータイム【プラン】(季節別時間帯別電灯)  
" 【プラン】(第2季節別時間帯別電灯)



電気のご使用量を、2つの季節(夏季、その他の季節)、3つの時間帯(デイタイム、ファミリータイム、ナイトタイム)に区分して料金を計算します。  
デイタイムは割高ですが、ナイトタイム、ファミリータイムは割安な料金単価を設定しています。

## 総原価の概要

新しい料金の設定にあたっては、これまでの効率化の成果に加え、今後の効率化努力分を最大限反映して、平成17年度の1年間に見込まれる総原価を算定しました。(1)

区 分		金 額 (億円)	構 成 比 (%)
営 業 費 等	人 件 費	1,223	14.2
	燃 料 費 2	1,374	15.9
	修 繕 費	934	10.8
	資 本 費	1,973	22.8
	(減価償却費)	(1,347)	(15.6)
	(事業報酬) 3	(626)	(7.2)
	公 租 公 課	718	8.3
	購 入 電 力 料 4	1,398	16.2
	そ の 他 経 費	1,417	16.4
小 計 (A)	9,037	104.6	
控 除 収 益 5 (B)	396	4.6	
計 (C = A - B)	8,641	100.0	

- 平成16年度供給計画および平成16年度経営効率化計画に基づいて算定。  
原価算定期間については、電力需要動向ならびに経営効率化の成果について合理的な推計が可能な平成17年4月から平成18年3月までの1年間としました。
- 燃料費算定諸元：為替レート 110円/ドル，原油価格 38.5ドル/バレル
- 事業報酬：支払利息等の資金調達に係わる原価  
事業報酬率 3.2%
- 購入電力料：他の電力会社等から購入する電力に対する支払い
- 控除収益：他の電力会社等に販売する電力料とその他の収入の合計

上記の総原価から、今回届出した電気料金を算定しました。

当社は、今後もあらゆる分野で効率化を徹底し、引き続き低廉な料金の実現を目指します



**参 考 資 料**

## データでみる中国電力の概要

設 立	昭和26年5月1日		
資 本 金	1,855億2,762万円		
発行済株式総数	3億7,105万5,259株		
株 主 数	162,476名		
契 約 口 数	電 灯	4,564千口	
	電 力	645千口	
	合 計	5,209千口	
販売電力量 (平成16年度)	電 灯	17,470百万kWh	
	電 力	40,670百万kWh	
	合 計	58,140百万kWh	
発 電 設 備	火 力	12力所	8,026千kW
	水 力	95力所	2,900千kW
	原子力	1力所	1,280千kW
	合 計	108力所	12,205千kW
送 電 設 備	送電線路巨長	地中	496 km
		架空	7,608 km
変 電 設 備	変電所数	394力所	
	出力	47,288千kVA	
配 電 設 備	配電塔数	47力所	
	容量	289千kVA	
	配電線路巨長	地中	2,517 km
	架空	77,890 km	
従 業 員 数	10,798人		

(平成17年3月31日現在)

(注1) 送電設備については、推計値

(注2) 配電塔には、22kV変圧器室および柱上変圧器を含む

(注3) 配電線路には低圧線を含むが、配電所管の送電設備は含まない

参考資料 2

## 決算関連データ

【収支実績】

(単位：億円)

			平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
経常収益	営業収益	料金収入	電灯料	3,674	3,643	3,647	3,488	3,672
			電力料	5,505	5,289	5,249	5,050	5,274
			小計	9,179	8,932	8,896	8,538	8,946
		地帯間・他社販売電力料ほか	802	792	758	589	620	
		計	9,981	9,725	9,654	9,128	9,566	
	その他	88	110	64	90	86		
合計			10,070	9,835	9,719	9,218	9,653	
経常費用	人件費		1,267	1,228	1,276	1,320	1,134	
	原料費	燃料費	1,162	1,059	1,104	1,000	1,280	
		地帯間・他社購入電力料	1,404	1,460	1,414	1,344	1,549	
		計	2,567	2,520	2,519	2,345	2,829	
	設備関係費	修繕費	987	997	868	862	927	
		減価償却費	1,909	1,800	1,668	1,564	1,446	
		支払利息	656	502	566	367	367	
		計	3,553	3,300	3,103	2,795	2,740	
	公租公課		678	673	670	655	656	
	その他		1,312	1,522	1,481	1,489	1,499	
合計		9,378	9,244	9,051	8,606	8,865		
経常利益			691	590	667	611	787	
湯水準備金引当			-	-	-	7	17	
特別利益			-	-	49	-	-	
特別損失			180	218	-	-	40	
法人税等			222	75	313	284	250	
法人税等調整額			30	52	53	75	13	
当期純利益			320	244	456	395	464	

(注)億円未満切り捨て

【収支諸元】

			平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
需要	電灯	億 kWh	162.1	163.8	168.5	166.6	174.7
	電力	億 kWh	221.5	219.3	222.1	219.9	155.6
	小計	億 kWh	383.6	383.1	390.6	386.5	330.3
	特定規模需要	億 kWh	161.4	152.9	167.9	167.8	251.1
	計	億 kWh	545.0	536.0	558.5	554.3	581.4
出水率		%	82.5	94.9	79.0	105.9	114.3
原子力利用率		%	60.3	91.6	95.7	68.5	65.4
為替レート(円/\$)		円/\$	111	125	122	113	108
原油CIF価格(全日本)		\$/バレル	28.4	23.8	27.4	29.4	38.7

【貸借対照表実績】

(単位:億円)

		平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
固 定 資 産	電気事業固定資産	22,711	22,315	21,457	20,413	19,442
	附帯事業固定資産	25	23	20	28	9
	事業外固定資産	51	67	68	67	50
	固定資産仮勘定	2,296	1,528	1,372	1,297	1,374
	核 燃 料	1,040	1,105	1,178	1,171	1,210
	投資その他の資産	1,127	1,129	1,257	1,336	1,402
	計	27,252	26,170	25,353	24,314	23,488
流 動 資 産		995	921	944	872	983
資 産 合 計		28,247	27,091	26,298	25,187	24,472
負 債	固 定 負 債					
	社 債	9,321	10,071	9,000	8,400	8,150
	長期借入金	5,879	6,029	5,346	5,487	4,383
	そ の 他	1,859	1,938	2,037	2,146	2,013
	計	17,059	18,039	16,384	16,033	14,547
	流 動 負 債	6,091	4,026	4,733	3,763	4,224
	湯水準備引当金	-	-	-	7	24
	計	23,151	22,065	21,118	19,803	18,796
資 本	資 本 金	1,855	1,855	1,855	1,855	1,855
	資本剰余金	166	166	166	166	166
	利益剰余金	2,861	2,901	3,172	3,382	3,664
	株式等評価差額金	212	103	57	90	104
	自 己 株 式	-	0	71	111	114
	計	5,096	5,026	5,180	5,383	5,675
負債・資本合計		28,247	27,091	26,298	25,187	24,472

(注)億円未満切り捨て

## 中国電力グループ

中国電力グループは、環境に配慮しながらグループ一体となった営業活動を展開し、お客さまの様々なご要望にお応えします。

## 情報通信

- (株)エネルギー・コミュニケーションズ [ ☎(082)523-3300 , <http://www.enecom.co.jp/> ]  
 インターネット (MEGA EGG, CCCN), 通信ネットワーク (専用サービス, イーサネット  
 通信網サービス[V-LAN], IP電話サービス), データセンター, システム構築, ネット  
 ワーク構築, ネットワークセキュリティ, アウトソーシング, O Aサポートなど
- (株)広島シティケーブルテレビ [ ☎(082)256-1811 , <http://www.hicat.ne.jp/> ]  
 ケーブルテレビサービス, ケーブルインターネットサービス (広島市東区・南区, 安芸郡府中町)

## ビジネス・生活支援

- 中国企業(株) [ ☎(082)-242-7835 , <http://www.chuuki.co.jp/> ]  
 不動産, 緑化, ビル管理, リース, 保険, 旅行, 絵画レンタル, 安全帽の販売など
- (株)エネルギー・ビジネスサービス [ ☎(082)523-2600 , <http://www.ebs-web.co.jp/> ]  
 経理・資材・人事労務の管理間接業務事務代行など
- (株)エネルギー不動産 [ ☎(082)546-3060 , <http://www.energia-fudosan.com/> ]  
 マンション・戸建住宅の分譲や賃貸マンションおよびスーパー銭湯「ほの湯」など
- (株)エネルギー・ライフ&アクセス [ ☎(082)541-1110 , <http://www.gr.energia.co.jp/enela/> ]  
 電気給湯機・クッキングヒーター・太陽光発電システム等の住宅設備機器の販売・リース,  
 学校空調一括サービス・熱供給など
- (株)エネルギー・ロジスティックス  
 [ ☎(082)244-3796, <http://www.energia.co.jp/energiaj/company/group/logi/index.html> ]  
 中国電力グループ内の資機材輸送
- (株)国際規格審査センター [ ☎(082)545-5701, <http://www.ismc.co.jp/> ]  
 品質マネジメントシステムと環境マネジメントシステムの審査
- 産興(株) [ ☎(082)232-4286 , <http://www.sankoweb.co.jp/> ]  
 印刷, 広告, イベント企画, ホームページ作成, 就職情報サイト(就活ナビ)の運営など
- ハウスプラス中国住宅保証(株) [ ☎(082)545-5607 , <http://www.jutakuhosho.com/> ]  
 新築・既存住宅の住宅性能評価・表示サービス, 建築確認サービス
- (株)エネルギー介護サービス [ ☎(082)544-4830, <http://www.energia-cs.co.jp/> ]  
 介護付有料老人ホーム「エネルギーケア平和公園」(デイサービスセンター併設),  
 介護センター「エネルギーケアはびねす」
- (株)エネルギー人材ソリューション [ ☎(082)244-2352 , <http://www.jinzai-solution.co.jp/> ]  
 人材派遣
- (株)福利厚生倶楽部中国 [ ☎(082)543-5855 , <http://www.fukuri-chugoku.co.jp/> ]  
 法人または団体(共済会・社員会・協会・組合等)の福利厚生代行サービス

[ 参考 ] (財)中国電気保安協会 [ ☎(082)242-7511 , <http://www.ces.or.jp/> ]  
 低圧電気設備の漏電調査・安全診断(住宅・商店など), 自家用電気工作物の保安管理業務  
 (ビル・工場など), 電気の使用安全広報など

## 総合エネルギー供給

### (株)エネルギー・ソリューション・アンド・サービス

[ ☎(0829)50-2110 , <http://www.gr.energia.co.jp/ess/> ]

燃料（LNG、石炭）の販売，電気・熱エネルギーの供給サービス（コージェネレーションシステム，地域エネルギー供給システムの設置・メンテナンス等），LNG利用高効率設備の企画・開発など

### 福山共同火力(株)

[ ☎(084)945-3705 , <http://www.energia.co.jp/energiaj/company/group/fuku/index.html> ]

火力発電事業

### 水島共同火力(株)

[ ☎(086)446-3700 , <http://www.energia.co.jp/energiaj/company/group/mizu/index.html> ]

火力発電事業

### 水島エルエヌジー(株) [ ☎(086)448-0055 , <http://www.m-lng.co.jp/> ]

LNG受入基地の建設・運営

### 水島エルエヌジー販売(株) [ ☎(086)448-0069 , <http://www.m-lng.co.jp/> ]

LNGの調達・販売

## 工 事 ・ 技 術

### 中電工業(株) [ ☎(082)505-1500 , <http://www.chuden-kogyo.co.jp/> ]

一般建築工事・住宅リフォーム，ビル・マンションリニューアル工事，コーポラティブハウスの企画・コーディネート，塗料の製造・塗装工事など

### 中電プラント(株) [ ☎(082)252-4311 , <http://www.chuden-plant.co.jp/> ]

リサイクル・ゴミ処理施設や自家用発電設備・受変電設備・風力発電設備の建設・保守，光ケーブル敷設，電話基地局建設，送電鉄塔利用サービス，総合サポート事業（設備の点検，設計・施工，監視，研修）など

### 中国計器工業(株) [ ☎(082)237-3101 , <http://www.chukeiko.co.jp/> ]

電力量計・エネルギー管理ナビ・ほっとアイネットの製造・販売，ネットワークソリューションの設計・施工および関連機器販売，電波障害・電力系統諸現象の調査・解析・対策，電力設備保護リレー・配電遠制御装置の製作・保守点検など

### 中電環境テクノス(株) [ ☎(082)242-0291 , <http://www.gr.energia.co.jp/technos/> ]

環境保全装置の運転，環境調査，化学分析，機密文書リサイクル，文書管理など

### (株)エネルギー・エコ・マテリア [ ☎(082)523-3510 , <http://www.energia-eco-materia.co.jp/> ]

石灰灰有効活用商品・石灰石粉末の製造・販売など

### 中電技術コンサルタント(株) [ ☎(082)255-5501 , <http://www.cecnet.co.jp/> ]

土木，建築，電気・通信，情報，環境，機械などに関する構想づくりから調査・計画・設計・施工監理・維持管理にかかわる技術コンサルタント

### (株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス

[ ☎(0829)50-2290 , <http://www.energia-pet.co.jp/> ]

発電設備の技術研修・エンジニアリング・ITソリューション・試験研究

### (株)エネルギー・ニューテック [ ☎(0852)82-9036 , <http://www.gr.energia.co.jp/ent/> ]

原子力発電所の保守・エンジニアリング，放射線管理サービスなど

### (株)中電工 [ ☎(082)291-7411 , <http://www.chudenko.co.jp/> ]

電気工事，情報通信工事，空調管工事，水道施設工事，省エネ支援サービスなど

### B & E アライド・テクノリサーチ(株) [ ☎(0823)26-0512 , <http://www.bhic.co.jp/beat/> ]

ダイオキシン類の測定・分析など

製 造

中国電機製造(株) [ 電(082)286-3411 , <http://www.gr.energia.co.jp/chuki/> ]

電気温水器(業務用・家庭用)・変圧器・配電盤・制御盤・特高受変電設備等の製造・販売など

(株)小月製鋼所 [ 電(0832)82-1111 , <http://www.gr.energia.co.jp/ozuki/> ]

タービンケーシング等の一般・特殊鋳鋼品の製造・販売, 発電設備等の非破壊検査, バルブメンテナンス・煙道工事, 複合鋼管柱等の製造・販売など

テンパール工業(株) [ 電(082)282-1341 , <http://www.tempearl.co.jp/> ]

配線用遮断器・漏電遮断器・住宅用分電盤・配電盤および住宅内情報監視・制御システム(あんしんモニコン)等の製造・販売など

中国高圧コンクリート工業(株) [ 電(082)243-6606 , <http://www.gr.energia.co.jp/kouatsu/> ]

コンクリート製品製造・販売, 土木・基礎工事の施工, 産業廃棄物処理など

イームル工業(株) [ 電(0824)29-2100 , <http://www.eaml.co.jp/> ]

マイクロ水車発電機(公園・キャンプ場等の電源)・水中タービン発電機および環境改善設備(汚水処理システム・バイオトイレ)等の製造・販売など

〒730-8701 広島市中区小町4番33号

中国電力株式会社

082-241-0211 (代)

<http://www.energia.co.jp/>

---